

NPO法人京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会杯 第3回ボードレスボッチャ山城大会競技要項

- 1 趣 旨 障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まで多世代が交流して楽しむ、地域づくり、健康増進、障がい者の社会参加等にもつながるボッチャ競技について、山城地域での普及を推進していくことを目的とする。
- 2 主 催 城陽市ボッチャ協会(会長 塚脇康宏)
- 3 後 援 城陽市教育委員会、城陽市スポーツ協会
- 4 日 時 令和7年3月29日(土)12時半集合(受付12時15分～)1時開始
- 5 会 場 城陽市民体育館 競技場
- 6 協 力 京都ボッチャ協会、(一社)京都障害者スポーツ振興会、京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会やましろブロック
- 7 協 賛 NPO法人京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会、トヨタカローラ京都(株)京都城陽ロータリークラブ、(医)啓信会 京都きづ川病院、(株)デューイテクニカル、NPO法人で・らいと、(有)米善、(社福)宇治田原むく福社会、(株)森忠建設造園
- 8 参加要件
 - (1)対象 宇治市以南の山城地域在住、在学、在勤者とする。介助が必要な方は介護者同伴のこととし、付添者は1名までとする。
 - (2)1チーム3人～5人とする。年齢、性別、障がいの有無等の制約はない。
- 9 参加費等 1人500円(支払は大会当日) 持ち物 体育館用シューズ
- 10 試合方法
 - ◇参加チーム数は、24チームまでとする。
 - ◇全チームを予選グループに分けて総当たりのリーグ戦方式とする。決勝は上位1位・2位チームによる決勝トーナメント方式とする。
- 11 申込方法と申込締切日

城陽市ボッチャ協会のホームページから参加申込書をダウンロードして申込締切日までに住所、氏名、年齢、連絡先等を明記の上、PDFにして以下のメールアドレスに送るか、郵送又はFAX 0774-55-2855により送付してください。申込受付は令和7年2月17日(月)からです。

◇城陽市ボッチャ協会メールアドレス

joyoboccia@gmail.com

◇郵送の場合 城陽市ボッチャ協会の住所

〒610-0114 城陽市市辺柿木原48-40

城陽市ボッチャ協会 塚脇康宏宛(090-8755-0554)

◇申込締切日 令和7年3月10日(月)

※申込チーム数が多い場合は、当会で出場チームを決定します。



12 その他

【競技上の規定及び方法】

- (1) 「(一社)日本ボッチャ協会競技規則2021-2024V.1」に則る。
- (2) 本大会はチーム戦(3×3)2エンドの合計得点によりゲームの勝敗を決める。2エンド終了時に同点であった場合は、コート中央のクロスにジャックボールを配置し、1球ずつ投球してジャックボールにより近いボールを投球した方を勝者とする。(ファイナルショット制度)
- (3) 1エンドの出場選手は3人とし、選手交代はエンドとエンドの間に審判に申告しなければならない。
- (4) 試合前のウォーミングアップは、1分間またはチーム6球を全員が投げ終えるまでとする。
- (5) 1エンド1人2球の投球。ジャックボールは誰が投球しても良い。
- (6) チーム1エンドの持ち時間は3分とする。ただし、ランプを使用する選手が出場するエンドは、チーム持ち時間4分とする。
- (7) ランプ使用選手以外で障がいによりスポーツアシスタントが必要な場合は、事前に審判に申告し相手チームにも了承を得ておくこと。
- (8) 反則は基本的に取らないが、以下の行為については、審判からの注意を受けても繰り返される場合は、基本ルールに則り対応することとなる。

【注意の対象行為】

- ・投球時にスローイングボックスのラインを踏んでいる又は越えている場合
- ・審判指示がされていないチームがボールに触れたり投球準備をすること
- ・ランプ使用選手のランプオペレーターがエンド中にコートを見ること
- ※ ランプのスイングについては注意・反則はとらない。
- ・コート内の選手とコート外にいる選手等との会話。コート外にいる選手等からの助言等。

【順位の決定】

順位の決定は、次の(1)(2)(3)(4)の順で決定する。

- (1) 勝ち数
- (2) 直接対決の勝者
- (3) 得失点差の多いチーム
- (4) 総得点